

貝毒の安全性の確保（継続）

2,513（2,702）百万円の内数

対策のポイント

二枚貝の食品としての安全を確保するため、都道府県の活動への支援を行い、貝毒の発生監視体制の強化を図ります。

（国内における貝毒の発生状況）

貝毒は近年、国内において広域化・拡大化する傾向にあり、新奇貝毒の発生も報告されている中で、より効果的な監視体制が求められています。

（国際的なリスク管理の流れ）

コーデックス委員会において、貝毒の分析法や、機器分析の結果を用いた新たな基準値案が検討されるなど、国際的にも貝毒に関するリスク管理のあり方について検討されています。

（我が国の課題）

このような状況を踏まえ、国内の貝毒の発生監視体制を充実させることにより、二枚貝の安全を確保するとともに、現在、我が国の貝毒検査の公定法であるマウスを用いた試験法に加え、機器分析法の開発やその導入などが求められています。

政策目標

産地段階でのリスク管理を的確に実施し、貝毒原因プランクトンにより毒化した貝類の流通に起因する中毒等の発生を引き続き防止する。

< 内容 >

1. 事業内容

貝毒発生監視体制の充実

我が国において、麻痺性貝毒、下痢性貝毒等により毒化した貝類が流通しないよう、都道府県が行う公定検査法等による貝毒の検査、出荷自主規制の指導の実施への支援を行います。

食の安全・安心確保交付金

2,513（2,702）百万円の内数

2. 事業実施主体

都道府県

3. 交付率

定額（1/2以内）

4. 事業実施期間

平成17年度～21年度

【担当課：消費・安全局畜水産安全管理課（03）3502-8098（直通）】